

研究タイトル：国際的な情報発信のための e-learning による人材養成プログラム



氏名：	小林 貢 / KOBAYASHI, Mitsugu	E-mail：	mitsugu@akita-nct.jp
職名：	教授	学位：	修士(文学)
所属学会・協会：	日本英文学会		
キーワード：	e-learning, TOEIC, 連携授業		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC を含めた実践的英語コミュニケーション能力 ・国連英検 ・Shakespeare 		

研究内容： 国際的な情報発信のための e-learning 及び 国際教養大学との連携授業 実践

平成 21 年度高専改革推進経費採択事業(「国際性の向上に関する改革推進事業」予算配分は 2 年間)として、筆者を中心とした本校の人文科学系(英語)の「国際的な情報発信のための e-learning による人材養成プログラム」が、高専機構から選定された。上記プログラムの概要は、「e-learning による英語学習に加えて外国人による専門分野に関する講演会により、TOEIC に十分対応できる国際的に活躍できる人材の養成を図る。そして、情報発信の推進のための外国人によるライティングのプログラム『情報発信のための Lesson』の演習を行うことで、学生が国際学会等で専門に関する発表をできるための英語力の素地を養成する。」であった。

上記プログラムの平成 22 年度における実施については、専攻科 1 年前期の応用英語 I、専攻科 1 年後期の応用英語 II 及び専攻科 2 年前期の応用英語 III に全面的に ALC NetAcademy2「スーパースタンドコース」を導入した。そして、本科 4 年の電気情報工学科及び物質工学科の総合英語 I (通年)においてライティングを指導するために、ALC NetAcademy2「ライティング基礎コース」を導入した。それに加えて、本科 5 年の物質工学科の工業英語(後期)において ALC NetAcademy2「技術英語パワーアップコース」を導入し、シラバスに基づき演習を行った。本科 4 年、5 年及び専攻科 1 年、2 年の自主学習教材として、ALC NetAcademy2「TOEIC(R)テスト演習 2000 コース」を導入することにより、「スーパースタンドコース」を完了した学生の TOEIC テストに対するモチベーションを更に高めた。これらに加えて、ネイティブの大学教員である国際教養大学 助教 Dr. Andrew Crofts 先生を講師に招聘した専門分野に関する講演会「Biotechnology: Solving the World's Biggest Problems」(2011 年 1 月 20 日)を実施することにより、学生が国際学会等で専門に関する発表をできるための英語力の素地を養成した。講演会については、秋田魁新報(2011 年 2 月 3 日)に記事として取り上げられた。

e-learning による英語学習により、TOEIC スコアが向上することで、英語を使用する事象に対して十分対応できるようになり、国際的に活躍しえる人材を養成できるようになるならば、また情報発信の推進のためにライティングのプログラムの演習を行うことで、学生が(短期留学を含む)留学する機会を得たり、国際学会等で専門に関する発表を出来るようになるならば、その過程自体が e-learning による英語学習の有効性を証明すると考えられる。国際教養大学 教授 Dr. Kirby Record 先生を講師に招聘して、平成 22 年 3 月に実施した『情報発信のための Lesson』に参加した学生 1 名は、リール A 技術短期大学(フランス)に短期留学し、平成 23 年度には国際学会において発表を行った。『情報発信のための Lesson』については、秋田魁新報(2010 年 4 月 8 日)に記事として取り上げられた。

プロジェクトの成果については、平成 23 年度に高専改革推進経費事例発表会(於：鹿児島大学)において発表し、『文部科学時報 3 月号』に掲載された。平成 24 年度においては、5 年物質工学科・生物コースの「蛋白・遺伝子工学」において国際教養大学 Dr. Crofts 先生との「遺伝子操作」に関する連携授業を実施した。平成 25 年度においても 5 年物質工学科・生物コースの「タンパク質工学」において DNA の構造と機能について連携授業を行う予定である。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	